

## 意見交換のテーマ（訪問型サービス）

### 【テーマ1】 サービスに依存的な利用者に対して、自立支援をどう進めたらよいか

・別紙、自立支援が進んだと感じる事例を提出いただいています。利用者の年齢にかかわらず自分でできることを増やすことができている利用者が大勢いらっしゃるということがわかりました。そこで、サービスに依存的になっている利用者に対して、どのような働きかけをしたら「ヘルパーさんにやってもらおう」というところから、「自分でできるようになる」というような前向きな考え方を持っていただけるか、みんなで、なるべく多くのアイデアを出し合いましょう。できるだけ具体的に考えてみましょう。

例) 利用者(利用者家族)に対し、誰と一緒に、どのような方法で、何を行うのか 等

### 【テーマ2】 指定事業所サービス以外で地域に必要なと感じるサービスや、連携について

・長野市で訪問型サービスを利用している75%が独居世帯です。心身の状況では生活目標が達成されたとしても、サービス事業所としては、心配な面が残るということもあるかと思えます。そこで、地域にどういったサービス(地域住民によるもの、お店等が実施するインフォーマルその他)があれば事業所のサービスを卒業した後も自立した生活が続けられるか提案をお願いします。

訪問型サービスで自立が進んだと感じる事例

	基本情報				利用サービス			生活目標	事業所の取組	自立支援が進んだ内容	
	年齢	性別	独居/同居	認定状況	既往症	種類	利用回数				内容
1	60代	男	独居			訪問相当	週1	ごみ出しの支援と掃除	1人でごみ出ししたり、家の中の掃除ができる	一緒に付き添ってごみ出しを行う	足元の悪い時は一緒に行くが、天気の良い日は見守りとなった
2	60代	男	独居	要支援2	心疾患、精神疾患、左上肢麻痺	訪問相当	週3	調理 買い物	1人で必要な食材の購入ができるようになる	近くにスーパーができ、散歩が少しできるようになってから散歩しながらの買い物を提案	購入品等のスーパー内の位置を覚えながら、一緒に取組みできるようになってきている
3	60代	男	同居	要支援1	脳出血後遺症の右上下肢マヒ両手細かい作業が困難	訪問相当	週1	調理と掃除	ヘルパーが来ないときも塩分量に気遣い調理できるようになる 90代同居母がデイサービスに行く日は掃除を行う	本人が緊張しないように難しい言葉を使わず、計量カップやスプーンを使っての軽量の仕方を繰り返しアドバイスする 掃除の一緒にやり方を覚えてもらう	掃除は2か月ほど一緒にやり卒業することができた
4	70代	女		要支援2	両上下肢しびれ麻痺 頸椎オベ 麻痺多少残る	訪問相当		シャワー浴の支援	1人でシャワー浴ができるようになる	リハビリで左手が動くようになってきたので、可動域を確認しながら洗身できる部分を増やしていった	洗髪、洗顔までできるようになり4か月で卒業
5	70代	女	独居	要支援2	腰の痛み強く長時間の立位困難	訪問相当	週2	居室全体的に掃除	自分で居室半分くらいの掃除ができるようになる	痛みがあるときは座ってできる机の上の掃除等提案、その後椅子に座ってできる範囲、短時間立っての掃除を一緒に行う	短時間立っての掃除も組み合わせで広いところの掃除ができるようになってきた
6	70代	女	独居	要支援2	左股関節人工骨頭置換手術からの退院	訪問相当	週1	かがむ姿勢のあるところの掃除	自分で掃除など家事動作ができるようになる	杖や手すりを使い歩行を安定させながらトイレ掃除の仕方やクイックルワイパーの使い方などを提案	自分で道具を使用して掃除ができるようになり、3か月後サービス卒業
7	70代	男	独居	事業対象者	視覚障害	訪問相当	週2	調理と室内の掃除	室内の掃除ができるようになる	室内整理物の位置を決めてヘルパーと一緒に掃除を行う	掃除についてはできるようになり6か月後卒業 また調理も炊飯はできるようになった
8	70代	女	独居	要支援2	脳出血の既往症 左マヒ立ったり座ったりの連続動作困難	訪問相当	週1	整理整頓がもともとできないの掃除	部屋の整理整頓ができるようになる	整理整頓をすることについて継続した声掛けを行う 座っての作業は行えるため、雑巾がけを提案する	整理整頓については、日常的に行えるようになってきた また、雑巾がけも少しずつ行えるようになってきている
9	70代	女	独居	要支援2	両足人工股関節手術後足の浮腫があり下肢筋力の低下や握力の低下で重いものが持てない	訪問相当	週1	重いものを持ってないことによる家事支援	できている家事は継続し、力のいる掃除や布団干しを支援してもらう	無理のないようにヘルパーと一緒に家事を行う	体調が安定し、周りの人の支援が受けられることで一人暮らしができるようになったため、5か月後サービス卒業
10	70代	男	独居		神経症からの気分低下や気力低下	訪問相当	週2	苦手な調理の支援	ヘルパーに教わった料理や献立をできる範囲で自分でも調理し実践してみる	苦手意識が強いため「調理はできない」と決めつけているところをサラダやみそ汁などから少しずつ調理することが苦にならないように支援する	苦手意識がまだまだ強いが、少しずつできるようになってきている
11	80代	女	独居	要支援1	坐骨神経痛の痛みが強く骨粗しょう症	訪問相当	週1	腰に負担のかかる掃除・ポータブルトイレの片づけ	転倒しないように自宅内の移動ができ、できる家事を増やす	寝室をトイレの近くに提案 掃除を長い柄のものできるように提案	環境整備を行ったことで、ポータブルトイレの片づけがなくなり、掃除も夏場は頑張れるということで一息卒業
12	80代	女	独居	要支援2	両変形性膝関節症のため下肢痛、関節痛	訪問相当		立ったり座ったりが困難 掃除機がけ ゴミだし	無理なく楽しみながら家事を行う	本人が地域、周りの人(ケアマネ含)と良好な交友関係を築いていたため、周りの人に自宅へ行ってもらうことを考えてもらった。	本人の権利意識が変わったことで、1年後に卒業

13	80代	女	独居	要支援2	膀胱ガン 宣告後うつ傾向 腰から股関節と膝に痛み	訪問相当	週1	買い物代行(重いもの) 床・水回り掃除	一緒に居室掃除ができるようになる	道具を使つての掃除の提案と外出用歩行器を使い 買い物に行き荷物を入れて持ち帰れるようになった	クイックルワイパーを使って床掃除ができるようになった 買い物代行も自分で歩行器を使用することで自立したためH22年からサービスを利用してしたが、H30年末で卒業した
14	80代	女	同居	要支援2	左半身マヒ・軽度の空間無視	訪問相当	週2	左半身マヒのため調理を一緒に 行う	1人でも調理ができるようになる	包丁を使って野菜を切るときにヘルパーが材料をおさえて切っていたが、慣れてきてから、マヒのある左手で材料をおさえて自分で切ってもらうようにした	1人で野菜が切れるようになったため一緒に調理を行うサービスは卒業した
15	80代	女		要支援2	視力低下、うつ気味、両膝曲がりにくい、左腕骨折により動作に負担有	訪問相当	週2	入浴支援	自分で入浴ができる	更衣、洗身とも自分でできるところはやっていた だき、洗髪、手の届かないところは支援を行う	徐々にできるところが増えていき、2か月後サービスを卒業
16	80代	女	独居	要支援2	左大腿骨骨折、左膝複雑骨折 歩行ふらつき 立ち上がり困難 左上手がらない	訪問相当	週3	ゴミだし、買い物、洗濯、掃除	できない部分の家事を一緒に 行う	デイサービスに通うようになってから、人に頼られることで、できることは自分でという意識が生まれてきた 声掛けに注意する	洗濯物など少しずつ干せるようになってきている できないことを一緒にお願いと頼む姿勢になってきた
17	80代	女	独居	要支援1	肺炎により体調不安定	訪問相当	週1	困難な動作があるところの掃除	肺炎が悪化しない	困難な動作を伴う掃除を一緒に 行った	体調回復し、一人で掃除に取り組む意欲がみられるようになったため6か月後サービス卒業
18	80代	男	独居	要支援1	他界した奥さんにすべてや ってもらっていたため家のことが 全くできない うつ傾向	訪問相当	週1	ごみの分別 居住スペースの 掃除	ごみの分別分類を理解して できるようになる 清潔の保持	冷蔵庫内の食品と一緒に チェックする 臭うもの、腐ったものを処分 可燃ごみプラごみの分別を一緒に 行う	居住スペースの掃除も 少しずつ行えるようになって きている
19	80代	女	独居	要支援1	下肢のむくみ 痛み有 糖尿病 難聴	訪問相当	週1	水回りの掃除 調理	下肢の筋肉を維持し家事 仕事が続けられる	見守りの中で調理と掃除機がけ をおこなっている	力が入らないので完全に きれいにならないが、本人 でできることはやっている
20	80代	女	独居	要支援1		訪問相当	週1	買い物のサービス	一週間の献立を立て、必要 なものを買って揃えることが できる	ヘルパーとともに冷蔵庫の 残りを確認してから一週間で 必要なものを買って揃える	サービスで一緒に取り組む うちに自らのペースをつかむ ことができ、外出する気力 手段も整ったため、サービス 卒業となる
21	80代	男	独居	要支援1	高度視力障害 糖尿病 末梢神経障害	訪問相当	週1	負担の大きい掃除の支援	自室の掃除機がけが できるようになる	掃除を行う際は、カーテン、 窓を開け、光を取り込み 足元に置いてあるものを 一緒に移動させる	掃除機がけがしやすい環境 を覚えてもらいできるよう なってきている
22	90代以上	男	独居	要支援1	ペースメーカー 白内障の 手術	訪問相当	週2	水回りの掃除 レンジ でできる調理の支援	ガスを使用せずレンジで 調理ができるようになる 水回りの掃除ができる ようになる	水回りの掃除については、 メラミンスポンジを使って の掃除を提案、またトイレ 周りの汚染がひどいため トイレシートでふくように 提案	トイレシートを使っての 掃除、トイレの床にタオル を敷いてまめに交換 できている レンジ調理も できるようになって きている
23	90代以上	男	独居	要支援1	脳梗塞後右下肢の感覚 鈍い 浮腫あり立ち上がり 歩行時ふらつきあるため 見守り必要	訪問相当	週1	入浴支援	転倒に注意して動き、 体力をつける できる 家事は自分でい 自立した生活が送れる	できない家事が多か つたためサービスを 増やすことを検討 していたが、少し ずつできるよう になったため 見守りにした	家族の協力もあり、 自分でできるよう なってきたため、 掃除、洗濯等の サービスの追加 について取りやめた
24	90代以上	女	独居	要支援1	膝の痛みがある	訪問相当	週1	掃除機がけ 日常生活 の買い物	じぶんで家の中の 掃除ができる ようになる	痛みが改善して きたから柄の ついたモップ を使っての 掃除を提案する	一緒に 行うことで できるよう になり、6 か月後 サービス 卒業

## 意見交換のテーマ（通所型サービス）

**【テーマ1】** 自宅でできることが増える、自分でできるようになる喜びを持ってもらうという視点に立ち、デイサービスとしてどんなサービス提供をすればよいのか（期間限定的自立支援の対象者に対して）

・別紙、自立支援が進んだと感じる事例をたくさん提出いただきました。自立が進んだ人の傾向として、年齢によらないということや、疾患としては、一時的な生活不活発病が多く、病气やけがが良くなればまた動けるというケースが多いことがわかります。そこで、期間限定的自立支援を進めていくために、専門職がどのように働きかけをすれば、自宅での自立した生活（ADLの改善）や必要に応じて相当サービスから基準緩和型への移行（IADLの改善目的）、地域（デイサービス以外）への参加（QOLの向上）が可能になるか、みんなで、なるべく多くのアイデアを出し合ひましょう。できるだけ具体的に考えてみましょう。

**【テーマ2】** 指定事業所が実施するサービスを卒業したのちも自分らしく喜びを感じて生活していくために、地域に必要なと感じるサービスや、連携について

・長野市で通所型の相当サービスを利用している半数の人は、社会参加を目的とされています。そのため、心身の状況では生活目標が達成され卒業できる状況だとしても、サービス事業所としては、心配な面が残るということもあるかと思えます。そこで、地域にどういったサービス（地域住民によるもの、お店等が実施するインフォーマル、その他）があれば事業所のサービスを卒業した後も自立した生活が続けられるか提案をお願いします。

通所型サービスで自立が進んだと感じる事例

	基本情報					利用サービス			生活目標	事業所の取組	自立支援が進んだ内容
	年齢	性別	独居/同居	認定状況	疾患等	種類	利用回数	内容			
1	60代	女	同居	要支援1	糖尿病 下肢筋力低下により歩行器利用	通所相当	週1		ひとりで買い物に出かけられるようになる	マシントレーニングによる筋力向上 平行棒を使った歩行訓練等	自立歩行が可能になり、2年後サービス卒業
2	70代	女	同居	事業対象者	転倒により左脚の肉離れ	通所相当	週1		5000歩歩ける下肢筋力をつけ、安定した歩行や体力をつけ、夫の介護も行えるようになる	無酸素運動による筋力向上、体幹トレーニングの実施	利用開始から6か月後に目標である5000歩を達成し、卒業。夫の介護も行えるようになった。
3	70代	男	独居	要支援2	大動脈手術にて長期入院	通所相当	週1		体力を戻し、入院前に通っていた入浴施設へ出かけ入浴することができるようになる。	入浴施設に行けない間の入浴援助、体力向上の機能訓練の実施	体力と自信が付き、入浴施設へ行けるようになった。何度か行けるようになったところで卒業。
4	70代	女	独居	要支援2	腰部圧迫骨折により入浴が困難	通所相当	週2		活動量を増やし、骨折前の体力を取り戻す	筋力アップや転倒予防の体操、タオルを使った体操、上下肢を使った体操等の実施	屈んだり、歩行時に痛みがあったが、痛みが軽減した。 入浴困難だったが、自分で洗髪を行えるようになった。
5	70代	男	同居	介護→要支援	右大腿骨臼蓋骨折により腰・大腿部から腰に痛みあり	通所相当	週1		歩行機能の向上 散歩や夫婦での旅行ができるようになる	3時間の運動を定期的実施	体力・筋力が向上し、膝の痛みが軽減したことにより外での歩行が安定し、歩行時間が増えた。介護認定が要介護から要支援になった。
6	70代	女	同居		右股関節人工骨頭置換術、右足第2指骨折、慢性胃炎	通所相当	週1		長期目標：友人と行先を相談しながら計画を立て、温泉旅行をする 短期目標：1日1回は外に出る。ほどほどに家事を行う	安定した歩行・移乗・移動ができるよう機能訓練を実施 他者との交流	同年に手術や疾患が続く、精神的にも落ち込んでいたが、体力・機能が向上することで自信が付き、他者との交流で気持ちも前向きになった。 目標達成し、利用開始から1年後卒業。
7	70代	男	同居	要支援1	うつ病悪化、食欲低下により経管栄養 生活不活発病	通所相当			自宅に離床した生活を送れるようになる	他者との交流目的で将棋に取り組む 他者と入浴・運動・レクに参加する	意欲向上が見られ、表情が豊かになり、日常会話が良好になった。身体機能の改善、生活改善も見られた。
8	70代	女	独居	要支援2	右足首の骨折 歩行困難	通所相当	週1		自宅にお風呂がないため、歩いて入浴施設へ行けるようになる	下肢筋力強化訓練、集団体操、個別体操の実施	歩行に自信が付き、入浴施設まで歩いて行けるようになり卒業
9	80代	男	同居	要支援2	胸椎圧迫骨折によりベッドで横になっていることが多い	通所相当	週2	福祉用具対応あり	植えた木を見に家族と出かけることができる	下肢筋力向上のための訓練と外周歩行の取り組み 利用者同士のコミュニケーション(会話)	当初は自宅のベッドで寝ていることが多く、トイレ以外は歩かなかつたが、歩行器を使い理髪店へ行けるようになった。
10	80代	男	同居		脚力低下により自宅内での転倒が増加	通所相当	週1		毎日の散歩が継続できる	個別機能訓練で下肢筋力アップのための運動を実施 ケアマネを含め相談し自宅内のウォーカーをレンタルする	意欲が回復し、毎日2回散歩ができるようになった 転倒が減った
11	80代	女	同居	要支援2	肺炎により在宅酸素使用 息切れにより活動範囲が狭くなる	通所相当	週2		転ばずに家の中を移動する 外出をすることができるようになり、会話等も楽しめる生活を送れるようになる	歩行時の付き添いや休憩場所を設置するなどの工夫をし、本人の意向も確認しながら歩行訓練の実施	開始時は3～5mで息切れし、車いすを使用していたが、今では1回の歩行で10～20m歩行できるようになった。笑顔も見られ、生活意欲の維持・向上にもつながっている。
12	80代	男	同居		右大腿骨頸部骨折 股関節可動域に制限あり 膝痛あり	通所相当	週1		歩行が安定すること 自宅での家事ができるようになる	下肢の筋力運動、可動域訓練の実施 自宅での活動量が増えるよう支援	利用開始から3年かかったが、卒業した

13	80代	女	独居	要支援1	腰痛、両膝痛、狭心症 息子を亡くしたことで精神不安定となり、体調を崩しやすい	通所相当	週1	訪問介護(週1)掃除・片づけ	不安なく友人と買い物に出かけることができるようになる 果外の姉の家へ泊り出かけることができるようになる	機能訓練 利用者同士の交流	痛みの改善が見られ、行動範囲が広がった。 他者との交流により、精神的な安定が見られ、活動的になった。 利用から1年4カ月で卒業
14	80代	女	同居	要支援1	うつ病	通所相当	週1		顔見知りと会う、会話をする機会を増やす	職員との関係づくり、特定の利用者との関係づくり	職員との関係づくりにより表情が豊かになり、更に利用者との関係づくりで少しだが会話が見られるようになった
15	80代	女	独居	事業対象者	ご主人をなくされたことによるうつ症状	通所相当			定期的に外出ができ、他社との交流が持て張り合いのある生活を送れる	お話の合いそうな他利用者と席を近くにしたり外出レクに参加していただけるよう声かけを行った	約1年利用され、5月に卒業した。
16	80代	女	同居	要支援1	変形性膝関節症の手術後、筋力低下、可動域の低下、痛みがある	通所相当	週1		家庭菜園や踊り等の活動に参加できるようになる	体調に合わせて機能訓練の実施	筋力、可動域が向上し、痛みが軽減した結果、杖に頼らず歩行できるようになった。また、家庭菜園や踊り等の活動を再開できるようになった。
17	80代	女	独居	要支援2	腰椎圧迫骨折により歩行時痛みがあり 難聴によりコミュニケーションがうまくとれない	通所相当	週1		自宅に引きこもらず、外出できるようになる 安全に入浴する	レク、腰痛体操の実施	腰痛が緩和され、近所の美容室へ出かけられるようになった。
18	80代	女	同居	要支援1	両膝関節痛、股関節痛 一本杖使用	通所相当	週2		坂の上にある近所の商店へ行き買い物ができるようになる。 自宅での入浴ができるようになる。	歩行訓練、下肢訓練、	浴槽のまたぎ動作や立ち座り動作が苦勞だったが、浴槽またぎや立ち上がり動作がスムーズになった。近所の商店へも行っており、途中の坂道もスムーズに歩けるようになった。
19	80代	女	同居	要支援2		通所相当			地域の活動に参加できるようになる 自宅隣の畑に出かけ、野菜の収穫ができるようになる (家族に喜んでもらいたい)	利用者同士のコミュニケーション 体操、レクリエーションの実施	下肢筋力低下により、階段が上がれず、地域の活動に参加できず閉じこもり気味だったが、気持ちが前向きになり、畑や老人会への参加もできるようになった。
20	80代	女	独居	要支援2	腰部圧迫骨折により日常生活動作困難(杖歩行) メニエール病(めまい等)	通所相当	週2		ひ孫の面倒を見ることができるようになる 以前のように自転車に乗って出かけることができる 友人と食事や旅行に出かけられるようになる	平行棒を使用し歩行練習	杖がない状態でも歩行や方向転換ができるようになった。こもりがちだったが、友人と月1回程度食事に出かけられるようになった。
21	80代	女	同居	要支援2	自宅で入浴中浴槽から出られなくなりそれから自宅で入浴することができない	通所相当	週1		見守りや介助を受け安全に入浴する	職員の見守り、声かけが必要に応じて一部介助を行う	4か月ぶりに浴槽に入っでの入浴ができるようになった。今後個浴でも試していきたい自宅に入れるようにしていく
22	80代	女	同居	要支援2	腰椎圧迫骨折により歩行能力低下	通所相当	週1		入浴動作の自立、自宅内を安心して歩くことができるようになる	下肢筋力向上訓練、歩行訓練の実施	安全に入浴動作が行えるようになり、シャワー浴なら1人で可能になった。自宅での活動も増えた。
23	80代	男		要支援2		通所相当	週2		畑仕事ができるようになる	両肩の物理療法、運動療法	肩の痛みで畑に行けなかったが、痛みが軽減し、畑仕事ができるようになった。
24	80代	女		事業対象者	関節リウマチ、心房細動、乳がん、膝や股関節に可動制限あり	通所相当	週1		床からの立ち上がりがふらつくことなくできる バス乗降時のステップの昇降が安全に行えるようになる	関節可動域の向上を目的とした膝・股関節のストレッチ 立ち上がり訓練、踏み台昇降訓練、下肢筋力強化マシントレーニング	立ち上がりがふらつくことなく行えるようになった。 バスステップの昇降も安心して行えるようになり、1年後にサービスクラス卒業
25	80代	女	同居	要支援1	右前腕橈骨複雑性骨折 第4指伸展不十分さあり 歩行は独歩だが前傾姿勢	通所基準緩和	週1		短期目標：豆や小豆を右手で拾える。高い所にある物を取れるようになる。 長期目標：夫婦で楽しみながら農作業が続けられる	ストレッチ・筋トレをメインに無理のない範囲で2時間運動を実施。運動の様子をケアマネに報告。	目標を達成したことから卒業となる。 ケアマネより自主グループの運動を提案、卒業後も運動の習慣・他者との交流が継続できている。
26	80代	女	同居	事業対象者	急性腎盂腎炎 腰痛	通所相当	週2		自宅で入浴できるようになる	見守りで入浴動作の練習、筋力・体力の向上のための運動を実施 自宅浴室での入浴動作の練習、福祉用具の設置のアドバイス	自宅での入浴が可能となり、6か月後サービスクラス卒業

27	80代	女	同居	要支援2	手首の骨折	通所相当	週2		以前のように家の事ができるようになる	骨折した手の握力と手首の可動域の向上訓練	握力・可動域の回復が見られ、以前のように日常生活が送れるようになった
28	80代	女	独居		脊柱管狭窄症 膝関節症	通所相当	週1		安定した歩行で、外出することができるようになる(家族旅行など)	歩行訓練、自転車こぎなどを通して下肢筋力を強化	12か月後、歩行器で移動し、ひとりでホームセンターやスーパーなどへ買い物にいけるようになった
29	80代	女	同居	事業対象者	膝痛、股関節痛 うつ傾向	通所基準緩和			転倒しないよう家の中を移動できるようになる 他者との交流がある場へ出かけられるようになる	筋力強化、昇降運動を集団で行い、お互い声を掛け合い交流も図る。 自宅トレーニング帳を作り、記録のやり取りをした	利用開始から9か月後卒業し、地域の自主グループへ参加している
30	90代以上	女	同居	要支援1		通所相当	週1		社会的な交流をもち、はりのある生活を送ることができる	リハビリ・レクリエーションの実施	自宅で引きこもり気味の生活だったが、表情が明るくなり、日常生活動作に改善が見られた。
31	90代以上	女	同居	要支援1	イレウスで入院したことでADL低下	通所相当	週1		畑仕事や家族との交流が楽しくできるようになる	理学療法士によるリハビリ教室への参加、個別プログラムの作成、レクリエーションの企画、実施 自宅での取り組みの支援(体操プログラムのサポート)	足を引きずるような歩行で、自宅内での転倒、畑仕事も休みがちだったが、歩行状態が安定し、畑仕事を再開できている。
32	90代以上	女	同居	要支援2	変形膝関節症があり杖歩行腰痛	通所相当	週2		安定した歩行で、外出することができるようになる	午前、午後ともにマシンと予防体操を実施、積極的に取り組む	移動が不安定だったが、足がしっかりし、杖について近所的美容室へ行くことができるようになった
33	90代以上	女	同居	要支援2		通所相当	週2		歩行が安定し、近所へ週1回散歩へ出かけられるようになる	体を動かす機会をつくる 交流や活動参加	入院後身体機能の低下がみられ、歩行のふらつきやトイレの介助を要したり、入浴への不安等あったが、サービス利用後シルバーカーを使用し、近所を自力で散歩できるようになった
34	90代以上	女	同居	要支援1	帯状疱疹、めまい、軽度脳梗塞	通所相当			自宅で調理を行えるようになる	来所時に台所で一緒に調理を行う。 事業所の様子でできることを息子に伝達。	自宅で食事作りに関わることが増えてきた。
35	90代以上	女	独居	要支援1		通所相当			これからも独り暮らしを続けていける状態を維持する	人と話したくないと言っていたが、まずは通う事から始め、徐々に利用者等との交流の機会をもつ	はじめはマイナスな発言だったが、今では積極的に交流し、独り暮らしの悩みを相談できる仲間ができて前向きな発言や意欲がみられる。
36	90代以上	女		要支援1		通所相当	週1		部屋の中の移動は這わずに、立ち上がり歩行できるようになる	下肢筋力向上体操等の実施	立ち上がり・歩行時にふらつきがあり、夜中トイレに行くときに部屋の出入口まで這って移動していたが、立ち上がり歩行して移動できるようになった。認定区分が支援2から支援1になった